

令和3年度 第2回八雲町熊石地域審議会議事録（要旨）

【開催日時・場所】

令和3年12月27日（月）18:30～20:35 ふれあい交流館センターくまいし館

【出席者】

- 委員：安住真委員、飯田浩委員、穴戸英委員、棚田昌幸委員、手塚勇起委員、西田香予子委員、田中元委員、田村旭委員、門脇謙哉委員、小林貴樹委員、門脇絵里香委員（11名）
（欠席3名：干場敬亮委員、三木洋委員、桂川裕樹委員）
- 町長：岩村町長、成田副町長、小笠原地域振興課参事、北川住民サービス課長、吉田産業課長、荒谷熊石消防署長、藤村熊石消防署次長、福原熊石国保病院事務長、川道産業課農林水産係主事（9名）
- 事務局：野口地域振興課長、佐々木まちづくり推進係長、中山まちづくり推進係主事（3名）
- 傍聴者：1名
- 報道機関：1名

【要旨】

- 町長から委嘱状の交付が行われた。
- 熊石地域審議会の今後の進め方・スタイルについて説明し、質疑を受けた。
- 熊石地域公共施設の再編整備構想について説明し、質疑を受けた。

【内容】

1. 開会 野口地域振興課長
2. 委嘱状の交付 町長より手交
3. 町長挨拶
4. 副町長挨拶
5. 議事
 - （1）熊石地域審議会の今後の進め方・スタイルについて事務局の説明後、質疑応答。

委員 あまり堅苦しくないほうがいいのではないか。

町長 今まで通り、意見はざっくりばらんに言っていると思うが、基本的には議会のやり方を勉強していくということになる。また、今までは会長、副会長だったものが、次からは議長と副議長になり、議事進行は議長が仕切っていくことになる。式次第については事務局で作るのでそれののった形で議事を進行していく。今の八雲町議会と同じ方式でやったほうが勉強になるし、この中から町長や町議会議員に立候補して、熊石を良くしていきたいとかそういった人が

出てきてくれればいいと思っている。また、仮に休んだとしても、次に開催するまでに、役場に来て、事務局から審議内容を把握して確認することが出来たら日当を支払うようにしていきたい。今まで年に3回くらいだったのが、定例会は年4回になり、予算は年10回分考えている。

委員 審議会で決めたことはどうなるのか。権限とか効力は。

町長 審議会は町長の諮問機関であり、審議会の中で出た意見の中で、これはいいぞというものについては町長が担当課と打ち合わせして、議会に上程して、制度に取り込めるが、細かい課題については審議会の中で解決できるのではないかと考えている。

委員 議会形式でやりたいという思いは分かった。でも、我々もそんな経験もないのであまり固くなってしまいたい意見も言えなくなってしまふ。言ったことの責任も出てくる。

町長 皆さんの意見を取り入れた私が、自分の責任で、本議会へ上程していくので皆さんに責任は無い。ただし、もう少し熊石の人たちも人口減少にあるという意識をもって、本当に持続可能なまちづくりを考えていかなければならないと思っている。3月の議会が終われば、熊石の予算が決まるのでそれを皆さんに公表して意見を交わしてもらおう。そして皆さんはきちんと意識をもってまちの課題とか産業の課題とかがあれば検討してもらいたい。皆さんの生活に直結することでもいいので何か意見を挙げてほしい。

委員 今までは議会で決まったことをただ報告されていて、委員はそれに対して意見をただ言っているだけの会議だったが、これからは我々の意見が町長を通して議会に行くような話だろうから、今までの会議からみれば大きく進歩したのかなと思っている。

委員 今回初めて委嘱を受けたので、これまでやってきた方々の話を色々聞きながらやっていきたい。地域の人たちの声が届くチャンスなのかなと思っているので頑張っていきたい。

委員 女性の意見も多く取り入れたいと言ってくれたので色々勉強しながらやっていきたい。

町長 何とか女性が入ってもらいたくて何人かお願いした。八雲町議会も役場もそうだが、女性の意見というのがなかなか聞けない。そういった部分で地域の課題とか家で帰って夫婦で議論してもらおうとありがたい。それでは1回目は3月の定例会が終わってから1か月以内、出来れば3月中にやりたいと考えている。それとこれからは資料を1週間前には送るようにする。そして一般質問は3日前までに提出する。開催時間や曜日はどうか。

委員 出来れば、火、水、金。

委員 空手の指導があるので、月、火、金以外で。

町長 それでは曜日は水曜日くらい、時間は午後6時半で。1回あたり6,500円の日当が出る。予算は10回分とってある。それではこの熊石地域審議会は議会方式で3月から始めるということでもいいですね。出欠についてはきちんと報告すること。欠席した場合は、総合支所に来てどういったことが話し合われたのかきちんと話を確認すること。

(2) 熊石地域公共施設の再編整備構想について

町長の説明後、質疑応答。

町長 熊石地域の再編整理構想ということで、現在、新聞で騒がれている国保病院問題については、この間、町内会長や熊石敬愛会の皆さんと話をしてきたが、元々、熊石のこれからを考えた時には、有床の診療所も検討しなければならないということを新聞に話したことが発端であり、診療所化が決定したということではない。今のところ熊石の町内会の皆さんも敬愛会の皆さんも45床でお願いしたいという話があるので、これから病院側と話し合いながら、さらには議会と話し合っ決めていく。新聞ではもう診療所で行くような書き方だがそういうことではない。ただ、これからの人口減少は考えなければならない。熊石の人口が最も多かった昭和30年代は10,000人くらいいたが、今は2,000人くらいで1/5まで減った。八雲町本町側も昭和30年くらいには26,000人くらいいて、今は13,000人くらい、だいたい半分になっている。やはり、熊石地域の人口が落ちているということを考えながらこれからのことを考えなければならない。その次に考えているのは関内地区の地域会館で、今、相沼地区に建設中の地域会館と同じく、消防の格納庫をつけたものを建設することを考えている。その次に総合センターを大規模に改修し、避難所機能を考えて、実施設計していきたい。次は熊石消防署の建て替えで、その際に熊石総合支所庁舎も一緒に併設する形で考えたい。小学校、中学校については来年、再来年の八雲中学校のあとに、熊石小学校の改修を予定している。

委員 議会が45床で決めて予算をつけて設計してきた。その時に熊石の人口が減るという議論は既にしてはいるはず。それなのに今、診療所化というのはどういうことなのか。

町長 あまり詳しくは言えないが、町が45床を維持するというのはなかなか難しい。もし仮に45床を建てたとしても、ここ5年で400人減っている。10年経ったら800人減る。単純な話ではないが今の熊石の高齢化率は58%で今年生まれたのが2人。今年はコロナで八雲地区でも子供が生まれていないが、今後人口が減ってしまった時に、その病床を何に使うかしっかり考えなければいけない。また、老人ホームや介護との連携も含めて、今立ち止まって色々考えていると理解していただければ。

委員 前回の審議会建て替えの図面を見たが、だいたいあの通りで決まったのか。

町長 これから基本構想を基に実施設計するという段階にある。5年くらい経ってさらに人口が減った場合にどういった病床がいいのか考えないで建ててしまうと、減った時に困るのでその辺を病院側としっかり考えて建てたい。また、今、熊石国保の医師は2名であり、そのうち1人が仮に病気になった場合はどうするか、そうした場合、総合病院から医師を派遣することになる。せっかく一つのまちになったので、医師や看護師、薬剤師についても総合病院との連携を考えていかなきゃいけない。そう言った課題もあり、今止まっているという状態にある。

委員 以前、総合病院の精神病棟の改築の議論で、総合病院が赤字の中、そこまでして維持する必要あるかと質問した時に、答えとしてはそこで働いている人もいるという回答だった。当然その人たちの生活もある。それでは今、病院が診療所になってしまったというときに、働いている

人はどうなるのか。やっぱりある程度雇用を確保してもらわないと人口がさらに減る。働く所を無くするということなのだから、そこは考えなければならない。

町長 働く場を作るというのが目的ではない。医療を維持するというのが重要。建物建てるのも大事だけど、これをどうやって維持していくのが大事であり、病院の働いている人はほとんどが町職員、公務員である。いくら病院が必要だといっても患者がいなくなれば、縮小せざるを得ない。熊石の人口の減少率は、自分が想像しているより減っている。

委員 よくわからないのが、人口が想像以上に減っている。病院は縮小する。消防署と総合支所の話も出たが、新聞に書いていたのは支所の機能も減らして行くという話だった。熊石の人口が減ったというのは八雲と合併した時に八雲の方に若い人が異動してしまったというのも原因ではないかと思っている。雇用を確保するのが病院の機能ではないというのわかるが、人口減少も想定したうえで45床ということで進めてきた。そもそも減らすことを前提に考えたら、人口減少はますます加速するだけではないか。ましてこうやって熊石に新しい事業、サーモンだ、リングローだ、ワイナリーだと色々入って来ても、働く人が何かあった時に、地元に対応できる医療の施設がないというのであれば、それはどうなのか。人を呼んでくる一方で、どうして病院機能を縮小するのか。45床の予算を取って進めている話であって、来年、再来年にすぐに患者がいなくなるわけではないし、今需要があるのになぜなのか。熊石地域の医療拠点として単に入院、外来だけではなく、デイサービスや介護との連携やリハビリセンターとしてのやり方も色々ある。結局、今、町長の話も聞いてもよくわからない。結局のところ45床で行くのか、19床なのかどうか。

町長 委員が言う通り、熊石が人口減少になった原因としてはやっぱり町村合併だったと思う。熊石の職員も減っている。人口が減れば職員は減る。ここにいる皆さんは多分合併した時に賛成だ、反対だとか町民として意見を出せなかったと思うが、やっぱり合併すると八雲地域と熊石地域の職員とで合算して人口割にしながら徐々に減らしていくというのが合併効果だと思う。いくら熊石に職員を置いても人口が少なくなれば減らさざるを得なくなる。

委員 どっちを目指しているのか。熊石は減っていくのは仕方ないよねっていうスタンスなのか。

町長 熊石だけが減るのではなくて八雲本町地域も減っている。熊石、八雲だけの話ではなく、日本全国で減っている。今職員が200人くらいいるが、今後人口が減って人口が12,000人になったら150人くらいになっていくということになる。逆に熊石地域の人口が増えるというならば職員の増える余地もあるが、このままでいったら支所になる可能性はあるよと言っている。病院についても、どうやったら熊石と八雲の病院が維持出来るか、八雲町全体の医療を見ていかなければならない。そうした中で、どうしていくか色々考えているということなので理解してほしい。病院も人口が減っていったら患者が減る。熊石の人だって、すべてが熊石国保病院に受診しているわけではないし、八雲総合病院に行ったり、函館、札幌に行ったりしている。つまり、全ての人を熊石国保病院で診ることが出来ないということだ。だから規模だけの問題ではなく、きちんと医療を維持していくことを考えなければならない。

委員 話は分かるが、先に規模を減らしていったらますます人口が減るだけではないか。

町長 町だって人口減少に対応していかなければならない。私は合併した時に町議員だった。その時

の議員の人数は 26 人いた。熊石には 9 人の議員がいた。今は 2 人になった。人口が減れば議員も減るということ。

委員 今、委員が言っているのは、減ってからそういう対応するのではなくて、減る前からそう対応してしまえば、増える要素が無くなってしまわないかということ。議会は通りました。設計図はまだ発注されていない。そこで選挙が無投票で終わった瞬間に町長の発言が新聞に取り上げられた。議会が 45 床で議決したのに、このタイミングで国保病院 19 床という発言が取り上げられたのが今回、熊石が騒いだ原因です。事前の説明も何もしないで新聞報道で出たから。予算があるのに実施設計を出さないのは、初めから町長の頭の中に診療所化があるからだとなってしまう。どうして議会で決まったことを町長がコロッと翻すのか。議会の立場って何だという話になるし、だからこそ、議会の皆さんがこの間、熊石に来た。ゆくゆくは人口減少の歯止めがかからなくて、どんどん人口減少していくならば、診療所にするのはやむなしと考えるが、今の段階で高齢化率 50%を超え、今後どんどん増えていくことが見込まれる中で、病院にかかる人はますます増える。その状況の中で 45 床ではなくいきなり 19 床という話になれば、地域のお年寄りもどこに行けばいいんだという話になってくる。

町長 ただ、新聞の書き方もある。自分も話の中で、これから診療所化の検討もしなければならぬと話したのは事実だが、それは議会と話をすればいい話であって、何も決定してないことだ。今回も普通なら議会だって本当だったら熊石に行く前に私に聞きに来るはずなのに、だれも聞きに来なかった。診療所化についてもすぐやるという話ではなかったし、確かに設計図はまだ発注していなかったが、選挙もあったし、新型コロナで忙しかったし、だけど人口も減少しているし、やはり熊石も 19 床の診療所も考えていかなければいけないなど、検討していかなければいけないと言っただけだ。

委員 それならそうと発言を撤回すればよかったのでは。

町長 もう新聞に出てしまったし、もう引っ込みがつかない。あれだけ話した中で、あの部分だけが取り上げられれば、自分ももう引っ込みがつかなくなる。高齢化が進めばこれから熊石国保病院だけではなく、函館などの病院に通わなきゃなくなる。

委員 それは今までも同じことだ。結局、今の国保病院が 19 床になった時に熊石で診られなくなって、八雲総合病院に運ばれ、そこから函館の病院に転送されるのか。今は熊石国保病院に診察して、院長がこれなら函館の病院だと紹介状を出して函館の病院に運ばれていく。それが無くなるから怖いという話だ。

町長 ただ、八雲総合病院の受診患者の 6 割ぐらいが町民だ。熊石国保病院の場合は 9 割が地元町民だ。

委員 だから 9 割近いということはそれだけ、地域に信頼のある病院だということだ。だから町内のお年寄りが騒いだ理由がそこにあって、こんなに頼りになる病院なのにいきなり無くなったら困るというのが一番の原因だ。

町長 病院をすぐに無くするという話ではない。

委員 だから、先に診療所とかの話をボンボン言ってしまうと、結局、熊石にいてもちゃんとした病院にかかれぬということ、結局、人口減少に歯止めがかからなくなってしまわない

のかというのが先ほどからの委員の意見だ。

委員 例えば、45床にしたときと19床にした時では病院の建て替えの事業費って何億違うのか。

町長 19床と45床では10億違う。

委員 さっき、町長が働く人は町職員だから首にもならないという話だが、この先、人口をどうしたら増えていくかを考えた時に、何にもビジョンもないし、やっぱり減っていくのかなと思ってしまう。だったら今、その箱ものに10億をかけるぐらいだったら、診療所でもいいかなと思う。あとであの時に45床建てなければよかった。19床で良かった。あの時、多くお金をささなければよかったという話が必ず出てくる。だったら19床なら19床でいいのではないかなと思ってしまうが、みんなの意見はどうか。

委員 この間の話し合いでもそんなに借金していけるのかと言いたかった。財政的な部分で10年20年はふるさと納税とか、ふるさと納税もどうなるかわからないけど、何とかやっていけるという話だった。ただ、町長も民間から来た町長だし、会社を興してきた人間だから、町政もやっぱり会社と一緒にだからと言っていたから、入金と出金というものも計算しなければならぬし、その辺も町長考えていると思う。民間病院だったら赤字だったらボーナス減らすけど、公立病院は病院赤字だから減らさない。そういうことも考えているだろうし、私は町長に任せてかまわないと思う。

委員 これは単純に病床数だけの問題なのか。病床数だけだとするとそれも一理あるかもしれないが、医者数の問題もある。例えば診療所になって医者が一人になって、その人が休みの時はどうするのか。今は医師2名が当番制で24時間対応してくれる。診療所になったら倒れました。江差行ってくださいとか八雲行ってくださいとかになってしまうのではないかな。

町長 19床は診療所という名前になるが、医者は今まで通り最低3名が必要になる。

事務長 医療法に基づく医師の配置基準では医師が3名必要で、今は常勤2名と出張医が0.何人という形で算定している。

委員 それだったら勘違いしていた。診療所になれば医師1名になると思っていた。

委員 それは委員だけではなく、みんなが勘違いしている。診療所になれば医者数が減ってしまって、満足な医療を受けられなくなってしまうという風な話がボンと出てしまって、どこからも間違いを訂正するような話が議員さんからも役場からも出てこない。だからみんな間違った認識のままている。

委員 今の話からすると診療所になったとしても医師が一人になるというわけではないと話をしたらみんななんとなく納得しそうな気がする。

委員 CTとかそういった検査の範囲も病院と診療所では違いはあるのか。

町長 何も変わらない。

委員 基本的に全部説明不足ではないか。

委員 病院が診療所になり19床になった時の特養老人ホームとの関係性はどうなるのか。老人ホームから体調を悪くして熊石国保病院に入院する人もいる。そういった場合、特養の人が入院していて長く病床を使っていた場合はどうするのか。また、特養は病院と連携しながら運営しているが、これが診療所になってしまったときに、特養が運営できなくなって、グループホーム

になってしまうとか、利用者の負担金が高くなってしまおうとかそういう影響はないのか。

町長 熊石の老人ホームは特別養護老人ホームだから、グループホームになるとかはありえない。本来であれば介護度 3 以上の人しか入れない施設だが、今はすまいる熊石が閉鎖したこともあり、特例で入れている。

委員 19 床に減っても、今までどおり体調を悪くしたくまいし荘の患者を受け入れられるのか。

事務長 今、現状では委員が言った通り、くまいし荘から長期入院患者の数を 20~30 人と見込んだ形で、現在の 45 床という形で計算している。

委員 熊石の病床数が足りなかったら八雲総合病院に入院すればいいのでは。

町長 それは 45 床でも 50 床でも同じで、熊石で入院できなければ、函館行ったり、八雲に行ったりするだけの話だ。先ほども言った通り、45 床でいいのか 19 床でいいのかもう少し議論していきたい。

委員 疑問に思ったが、議会が 45 床で議決して設計することになっていたのに、先ほど 19 床と 45 床でどれだけ事業費が違うかと質問した時になんで 19 床の事業費がすぐに分かるのか。

町長 私はプロだから分かる。

委員 分かるなら分かるできちんと町民に説明しなければならないのではないか。

町長 それはまだ説明する必要もないし、結局、前の質問でもあった通り、お金だけの問題じゃないということ。事業費がいくら違うと聞かれたから 10 億円くらい違うのではないかと答えただけだ。

委員 そういう風に 19 床になった方がいいのではないかという風な話がポンポン出てくるから、話がおかしくなる。

町長 質問するから答えているだけだ。先ほど委員に話した通りお金だけの話じゃないよと、費用についても一般的に考えればそうだと思うと言っただけ。

委員 やっぱり 19 床にしようと思ったときに、19 床にしたらいくらかかるとか計算していると思う。

委員 色々検討する時に A か B かと比較しなければ経営できないと思う。

委員 ではなぜ 19 床という話になった時に議会と相談しなかったのか。

町長 相談する前に新聞に出て、こういう騒ぎになってしまったという話だ。

委員 議会の方でも病院の建て替えにあたって 19 床と 45 床の議論はなかったのか。

町長 特別委員会なので私は入っていないが、無かったようだ。

委員 議会が 45 床で議決し、予算がついたが実施設計はされないままで、今回 19 床という話がでた。町長の中では当初から 19 床という考えがあったのか。

町長 考えてはいた。だからそういう発言をしたということ。だけどそれは決定している訳ではなくて、先ほどもどうして議会に説明しないのという話をされたが、議会に説明する前にこういう話になってしまったということだ。それに議員からそういった質問されたこともないし、今回初めてこの審議会で 19 床だったらどうなのかという質問が出た。病院の建て替えでも一般質問でも出ていない。

委員 人口の資料で 65 歳以上の人口が出ていない。いくら今後人口減少するといっても、2025 年以

降の 65 歳以上の人口予測もつけて説明しないと診療所にする根拠が無いのではないか。

町長 これは 2025 年というラインがあって、日本全国で高齢者が減っていくという人口形態だが、熊石はここに到達する前に高齢化が進み、高齢者の人数が減っているという状況だ。今 75 歳以上が 31%でこの辺が一番多い年代だ。5 年くらい前に人口ビジョンを作って人口予測を行ったが想定以上に減少している。自分はみんなでこの地域を活性化するためにみんなで力を合わせなければならないと考えている。そのためには 1 人でも 2 人で雇用の生まれる場所を作っていくというのが必要だ。先ほど言った通り、人口が減っていけば役場も維持できない。病院も 45 床で建ててもいいが、今後人口が減って患者がいなくなったら建物が無駄になってしまう。

委員 今より人口が減って病院の規模を 45 床に減らしたのに、町長の中では 45 床でも多いというイメージなのか。先の話ではないが、祖父も祖母も老人ホームに入所しており、体調崩してホームと国保病院を行ったり来たりしている。介護する家族もみんな高齢なので、熊石国保病院で受け入れ出来ないから八雲行けばいいという話を言われても家族にとっては大変な負担になる。地域に住む人にとっても 19 床という数はどうなのか、いざ体調が悪化した時に受け入れられなければ助かる命も助からないのかなと思う。45 床というのはそれでも多いというイメージなのか。

町長 今は 45 床でいいと思うが。

委員 それは何年後を見越して言っているのか。

町長 10 年か、10 何年かはいいと思ったが、人口の減り具合が思った以上に進んでいると思ったから 19 床の診療所も考えなければならないと話したら新聞に出てしまったということ。

委員 今、こうして町長がいろんな事業を行っているが、もし仮にうまく行って地域活性化につながって人口が増えた時に 19 床になってしまったら 45 床に戻すのは難しいと思う。例えば 45 床で維持できるやり方を模索することは出来ないのか。

町長 今私の行っている事業や夢は色々持っているけど、それでも多分、人口の維持は難しい。この 2,000 人切ってしまった人口をどこで食い止められるか、正直自分は自信が無い。これからは熊石地域の役場職員も熊石に住まないで他から通ってくるという可能性もある。

委員 今既にそうだ。八雲から通ってくる人が多い。消防だってそうだ。

町長 この間の町内会長との会議でも、どうして消防職員を地元から採用しないんだと言われた。今回も採用試験を行ったが役場職員でもなかなか手がいない。函館から森町までは職員の応募があるが、八雲まで来ると応募が急激に少なくなり、二次募集、三次募集する状況にある。消防もなり手がなくて去年やっと採用した状況である。熊石から誰か応募してくれないかと言っているが、なかなかいないというのが現状だ。今回審議会のメンバーを若手にしたのは、みんなで色々な意見を話し合っただけでもこの地域に働く場所が増えるようなことを考えたかったからだ。今後、この中から町長に出るとか、議員になるとかして、地域の意見を代弁していかなければならないだろう。そのためにはこれから作る審議会はなるべく議会と同じようにやって将来、町長や議員になった時に、あの時に勉強して良かったなと思ってもらえばいいなということと、皆さんの意見をもらえる場があったらいいなということとで進め方を

変えることにした。

委員 合併も何も悪いことばかりじゃないと思う。以前、上ノ国町は高校生まで医療費無料だけどなんで八雲町はやらないのか、ほかの町と比べてしまうと言っていたらちゃんとやってくれた。今、子供たちが札幌に行っても八雲町であれば病院を受診してもお金がかからないで済む。ただ町の予算もあるし、何が必要で何を我慢するということの選択も必要で、合併してどうのこうのという意見もあるが、最終的に合併して良かったのではないか。合併をしないでいたらもう熊石は無くなっていたのかもしれない。あとはもう町長に任せたい。

町長 若い人たちはみんなこれから付き合いしていく人達だから、みんなでこの地域のことを考えていかないといけない。病院も大事、働くところも大事。では活性化するためにはどうすればいいのかという結局、農業でも漁業でも商業でも儲からなければ続かないということだ。

委員 例えば、跡継ぎに帰ってきたら500万円くらい支給するというのをやったらどうだろうか。1年いたなら50万円、仮に5年でどこか他の町に行ってしまった場合は250万円を町に返す。人口が少ないのにせっかく帰ってきているのだからいいのでは。

町長 金額の話はともかく、いい意見だと思う。だからそういう意見をどんどん出してもらえれば。今、来年から考えているのは八雲町内に就職したら30万円、1年勤めたら10万円、2年勤めたら10万円と全部で50万円支払うということを考えている。これは3月の議会を通らなければ決定しないが、今言ったような色々ないい意見が出たら予算を組んで議会にもっていく。そこで議会で反対されたらそれはしょうがないが、そういういい案を出してほしい。ハウスやるからもうちょっといい補助金は無いのかとか、漁業でも何かやりたいけど支援策無いのかとか、一人ひとり人口を増やすことをみんなで考えてほしい。

委員 病院の話に戻るが、どうして議論が19床と45床なのか。中間は無いのか。

町長 他の委員も言っていたが、間を取って30床ではという人もいた。でも結局、30床も45床も変わりがない。コスト的に19床の方がいいのではないかと考えただけであって、熊石の意見として45床で行きたい、45床の病院をみんなで守っていくということならこんなにうれしいことはない。今回、熊石の町内会からも意見をもらったし、熊石地域で何がなんでも45床守っていくというならばそれはそれでいい意見だ。ただ、今病院側と話し合っている最中だ。

委員 それはいつ決まるのか。

町長 決まるのは今年度中か、来年の初めには決まる。ただ、今決めたとしても実施設計の発注も年度内に出来ないから、ここはいったん立ち止まって、病院とも話し合っ、議会とも話し合っでゆっくり考えて決定する。そんなに今、建て替えを急ぐような状況ではない。

委員 それではまだまだ10年くらいは大丈夫なのか。

町長 別にすぐに19床にしようという話ではない。19床も考えていかなければならないことだから。病院も古いが雨風が漏っている状況ではない。これから院長と話し合いをしていく。

委員 決まらなければいまの現状のままということか。

町長 別に今のままでいいでしょう。

委員 18歳未満の子育て支援給付金にしても、町長がすぐフェイスブックで28日に現金で支給するとすぐ対応してくれたから、そういうところも町長いいなと思っていた。

委員 その件で、高校生については自分で申請しなければいけないが、小学校、中学校は申請しなくてもいいのか。

住民サービス課長 今、児童手当を受給されている方々は口座等の情報が分かっているのですぐに振り込めるが、高校生については現在、受給しておらず、口座情報がわからないので申請をお願いする形になっている。

委員 その周知がしっかりされているのかなと思うところがある。知らない我々が悪いのかもしれないが。

副町長 高校生については来月になったら正式に案内が行くと思う。先に 28 日は児童手当支給対象者に支払うことになっている。

委員 自分は八雲町 LINE で知り、八雲町ホームページから申請した。八雲高校に通っている生徒については高校から案内が行ったとの話だったが、八雲町に住所があって町外に通う高校生には案内は送られていないようだ。

委員 将来のことを考えて 45 床の病院を建てるにしても 19 床の病院を建てるにしても、自分の子供たちが負担になるような形にはしないでほしいなと思った。

町長 将来にわたって自分の子供たちに負担になるようなことがないようにという意見で良いか。今日こうやって色々な意見が出たということはいいことだと思うし、今までは町側から報告するような形だったが、これからはこれを町長に聞いてみようとかあれば、ぜひ事務局にざっくばらんに相談してほしい。また、皆さんも出来るだけ地域の声に耳を傾けている色々な情報を貰えればと思っている。

委員 審議会の開催場所について、たまに相沼側でもやってほしい。

町長 相沼の地域会館が新しく出来たのでどうか。熊石側でやったり、相沼側でやったりという風にやるというのはいいですか。あと意見はいいですか。

委員 あと議長と副議長を決める会議をしなければならないと思うが。

町長 議長、副議長、常任委員長を決めてほしい。出来れば勉強だから 2 年交代にするとか、それも話し合ってもらいたい。委員も勉強になるし、職員も勉強になる。

委員 初めて参加するので参考までに今までの流れを資料としてほしい。

町長 今までの流れと全く違うので、みんなスタートは一緒だからそれは必要無い。

委員 先ほど跡継ぎとして戻ってきた人への給付金みたいな話も出たが、商工会としても新たに事業を起こしたり、何かにチャレンジしたりするにしても、一番大変なのはやはり資金繰りになってくるので八雲町で創業、チャレンジ出来るような補助金があればお願いしたい。

町長 それもいい意見だと思う。

6. 閉会